

# TOREX IR REPORT VOL.19

第29期 中間報告書 2023.4.1 > 2023.9.30



特集

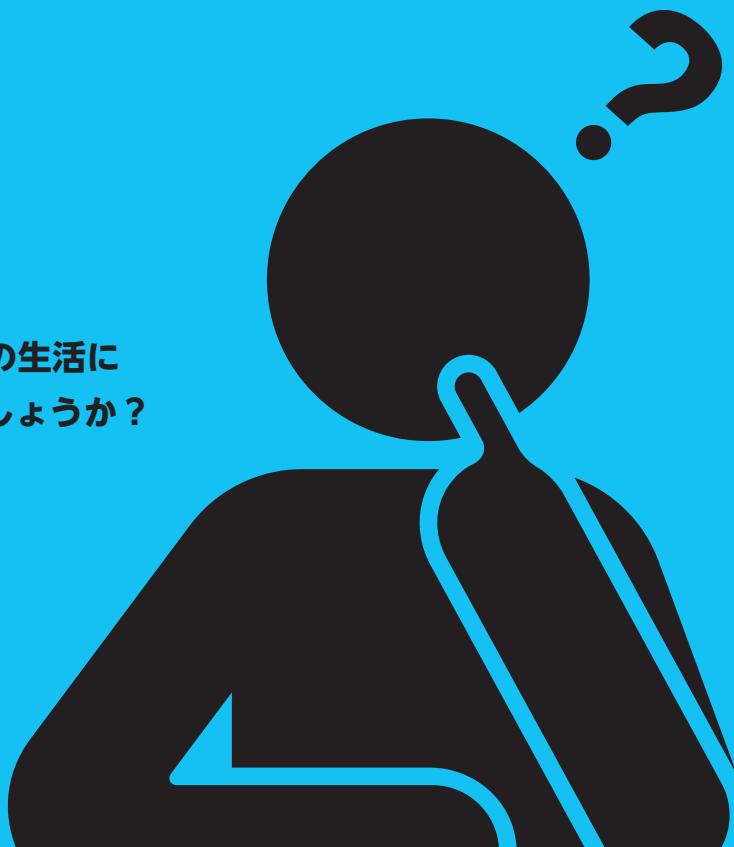
## トレックスの製品を 知っていますか？

### CONTENTS

- P1 特集 トレックスの製品を知っていますか？
- P5 トップメッセージ
- P8 連結財務ハイライト
- P9 会社情報・株式情報・株主メモ
- 裏表紙 WEBサイトのご紹介

みなさまに質問です。  
私たちの生活の中で  
トレックス製の「電源IC」は  
どこに使われているのでしょうか？

トレックスは「電源IC」一筋、  
省電力・小型化の技術で  
エレクトロニクス産業技術の  
発展に努めてきましたが、  
いったい「電源IC」はみなさまの生活に  
どのように関わっているのでしょうか？  
みなさまご存じですか？



①ドローン



②テレビ



③クルマ



④スマート  
ウォッチ



⑤体温計



その衝撃の答えとは…!?

その衝撃の答えは…

# A 「すべて」です！

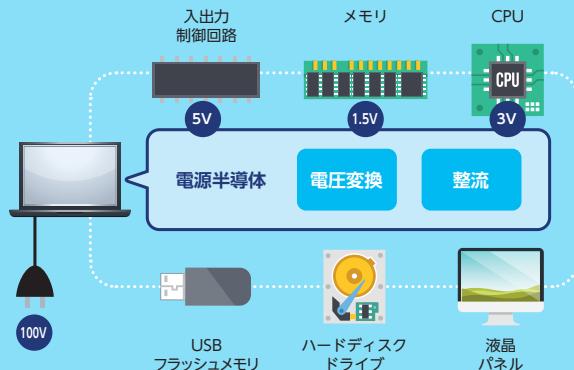


電気を必要とする機器にはすべて、電源ICが使われています。例えば、ドローンやスマートウォッチのような先端機器から、テレビ、冷蔵庫のような電化製品、車の中にもカーナビやパワーウィンドウ、町の中では監視カメラや自動販売機など、普段私たちが接する多くの電子機器に採用されています。

いまさら聞けない…

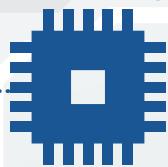
## 電源ICの役割ってなに？

電源ICとは電子機器を動かすための電力を、その機器が必要とする適切な電圧にコントロールして供給するデバイスです。特に高度化する電子機器に不可欠なマイコン、メモリ、センサ、無線機能、二次電池などは、適切な電力供給と過電流の制御が必要で、電子機器が正常な動作と信頼性、安定性を確保するために欠かせない機能をもっています。



# トレッスの電源ICはあらゆるフィールドで採用されています！

トレッスの電源IC



## Automotive

- インフォテインメント機器
- ドライブレコーダー
- 車載カメラ
- パワーウィンドウ

## Medical & Healthcare

- 電子体温計
- 体組成計
- 見守りセンサー・トラッカー

## Consumer Electronics

- スマート家電
- AV機器
- ウェアラブル機器
- 美容機器

## Industrial

- FA機器
- 産業ロボット
- スマートメーター
- 計測機器
- 各種センサ

## Computers & Communication

- スマートフォン
- 携帯ゲーム機
- 電子辞書
- 通信モジュール

小型



極小化で世の中に与えるインパクトは無敵大

トレッスの電源ICの特長とは

省電力



使用時間

既存製品

100%

20%

新製品

100%

40%

独自の超小型パッケージ技術！

世界トップクラスの省電力技術！

**Phenitec**  
For Further Growth Together

これらの半導体製造を担うのはグループ会社であるフェニテックです！  
次回はそのフェニテックを皆様にご紹介させていただきます。



## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業へのご理解とともに多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、中国経済の失速などを背景に、半導体市場が在庫調整局面に入り、需要の減少が続いています。第29期(2024年3月期)上半期は、アナログ電源ICの開発・販売、ディスプレイ半導体の受託製造ともに低調に推移したことから、大幅な減収・減益となり、損失を計上する状況となりました。私たちは、抑えるべき費用を低減し、経営の効率化と安定化を図る一方、将来を見据えた成長投資については、一時的な業績悪化で手を緩めず、引き続き継続しております。

今後は、「拡大中期業績目標」として掲げた2026年3月期の「売上高370億円」「営業利益55億円」、2029年3月期の「売上高450億円」「営業利益80億円」の達成に向けて、市場の変化に対応したロードマップの明確化と、「開発ファースト」を全社一丸のスローガンとし、付加価値の高い新製品の開発、市場投入を最優先に、持続的成長を実現するための基盤を築き上げてまいります。

代表取締役 社長執行役員

**芝宮 孝司**

# 市場の波を乗り越えて前進し、持続的成長を実現していきます。



上半期を振り返り、  
営業状況を総括願います。



中国市場の落ち込みを受け売上が減少。  
在庫の評価損が発生し、損失を計上しました。

半導体市場では、前期後半からコロナ特需の反動減や中国の生産減速による影響が生じており、当上半期においても多くの分野で在庫調整局面が続ぎ、需要の減少に見舞われました。

当社グループでは、アナログ電源ICの開発・販売を行う旧トレックスグループ(以下、トレックス)が中国市場の落ち込みを受け、各地域・各アプリケーションとともに売上が減少しました。営業利益は、減収の影響に加えて在庫の評価損が発生したことから、損失に転じました。

ディスクリート半導体の受託製造を行うフェニテックセミコンダクター(以下、フェニテック)も、トレックス同様に中国市場の悪化が響きました。北米と欧州で売上高を伸ばしたものの、一般民生機器

などの分野が低迷し、営業利益は、前年同期を大きく下回りました。

以上により当上半期の連結業績は、大幅な減収となり、また前期までに実施した工場への投資に伴う減価償却費も利益を圧迫し、経常損失および純損失を計上しました。



注力施策の進捗状況をお聞かせください。



トレックスのパワー半導体事業化とハイブリッドモデルへの転換を着実に進めています。

足もとの事業環境は厳しく、一時的な業績悪化を余儀なくされていますが、半導体市場の長期的な成長性には変わりはなく、当社グループは将来を見据えて、次の飛躍に向けた転換を図っています。

まずはトレックス、フェニテック個々の事業拡大に向けたアナログ新製品、パワーデバイスの新製品開発に注力してまいります。そして、グループのシナジー効果をより高めるため、ト

## 2024年3月期第2四半期(累計)の業績

売上高

13,252百万円

前年同期比  
△23.8%



経常利益

△266百万円

前年同期比  
－%

営業利益

89百万円

前年同期比  
△97.4%



親会社株主に帰属する四半期純利益

△199百万円

前年同期比  
－%

レックスは当期よりパワー半導体の事業化に着手しました。フェニテックが開発したパワーデバイスのチップ等を活用し、トレックスブランドで販売展開するスキームで、すでにSiCショットキーバリアダイオードをサンプル提供し、量産化への動きを進めているところです。今後は12月1日付で新設した「パワー半導体事業推進部」が中心となり、取り組みを加速していきます。

同時にトレックスは、従来のファブレスモデルに自社生産機能を加えたハイブリッドモデルを目指しており、フェニテック鹿児島工場においてトレックスのアナログ電源IC向けを含む生産ラインの増強を行っています。同工場では、クリーンルームの増床工事が来年1月に竣工し、装置の増設・導入開始とともに、増産体制を確立する予定です。また産業機器・車載機器向けに開発する中高耐圧製品の生産枠確保として、トレックスが長期生産委託契約を締結した海外ファウンドリも、新たな生産ラインによる試作稼働を開始しました。

**Q** 通期の見通しと配当についてご説明願います。

**A** **通期業績予想を下方修正。配当は長期の成長を見据え、利益還元方針を維持します。**

半導体市場の在庫調整局面は、当初の想定よりも長引いており、この下期も需要の減少が続き、本格的な回復は来期以降になる見込みです。こうした状況を踏まえ、通期の連結業績については、期初の計画を下方修正し、売上高265億円、営業

利益△9億円、経常利益△12億円、親会社株主に帰属する当期純利益△8.4億円を予想しています。

多額の損失が発生することとなってしまいますが、これは昨年度における生産拠点の見直しに伴って積み増していた在庫が、会計処理上、棚卸評価損の対象となる時期を迎え、当該評価に当たっては、現状の悪化した受注環境を反映させる評価を行うこととなっていることから、当期を通じて約19億円の棚卸評価損が発生してしまうことが予想されるためです。ご心配をおかけし、申し訳ありません。なお、棚卸評価損については、当該評価損の対象となった在庫が将来販売された場合には当該期間において回収されることとなりますので、販売を強化し、将来期間の業績向上に努めてまいります。

なお当社は、株主の皆様への利益還元方針について、株主資本配当率(DOE)3%程度を当面の目標とした、安定的かつ継続的な配当の実施を掲げています。上述の通り当期の業績は、大幅な減益を想定していますが、いずれは市場が回復し、著しい需要の増加を受けて成長軌道へ回帰できることから、引き続き本方針を維持する考えです。これにより今回の中間配当は、予定通り1株当たり28円を実施しました。期末配当も同額を予定し、年間配当額は合わせて同56円となる見通しです。

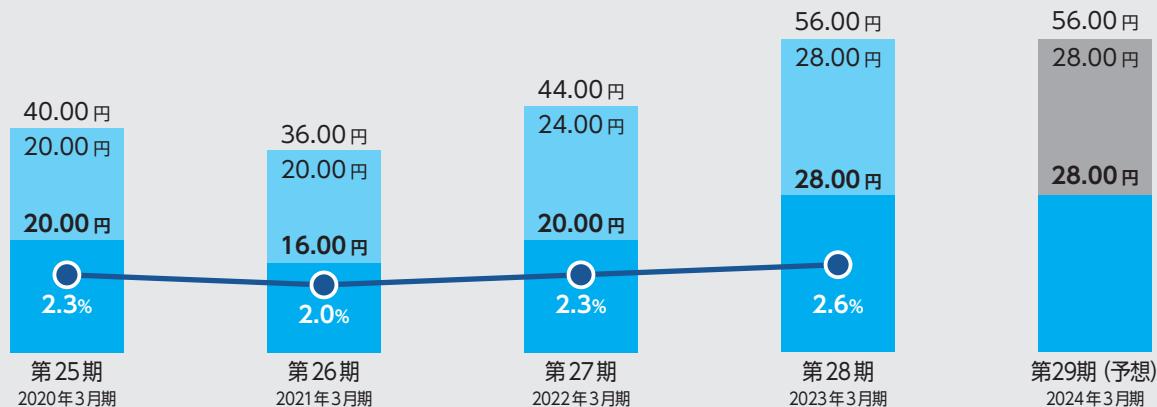
株主の皆様におかれましては、市場の波を乗り越えて前進し、持続的成長を実現していく当社グループにご期待いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務ハイライト

		第26期	第27期	第28期	第29期	
		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
					第2四半期(累計)	通期(予想)
売上高	(千円)	23,712,981	30,864,245	31,956,887	<b>13,252,878</b>	26,500,000
営業利益	(千円)	1,209,294	3,897,675	3,976,219	<b>89,294</b>	△900,000
売上高営業利益率	(%)	5.1	12.6	12.4	<b>0.7</b>	—
経常利益	(千円)	1,206,211	4,124,574	3,981,298	<b>△266,825</b>	△1,200,000
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	933,591	3,157,348	2,179,807	<b>△199,729</b>	△840,000
総資産額	(千円)	31,512,129	34,770,317	37,048,739	<b>38,655,201</b>	—
純資産額	(千円)	19,789,922	22,729,277	24,593,934	<b>24,510,082</b>	—
自己資本比率	(%)	62.8	65.4	66.4	<b>63.4</b>	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,790,473	1,753,056	1,294,785	<b>813,706</b>	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△1,545,832	△1,608,519	△4,567,187	<b>△2,379,216</b>	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,175,021	△2,056,414	1,510,217	<b>1,443,130</b>	—
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	11,681,709	10,163,070	8,515,480	<b>8,877,432</b>	—
1株当たり当期純利益金額	(円)	85.42	288.60	198.69	<b>△18.15</b>	—
1株当たり純資産額	(円)	1,808.96	2,077.66	2,236.24	<b>2,228.20</b>	—

## 配当金の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 配当予想 ● 株主資本配当率(DOE)



### 会社概要

社名 トレックス・セミコンダクター株式会社  
 所在地 東京都中央区新川1-24-1  
 DAIHO ANNEX 3F  
 設立 平成7年(1995年)3月  
 資本金 29億6,793万円  
 事業内容 1. 半導体デバイスの開発、設計、製造  
 2. 半導体デバイスの販売  
 従業員数 連結/1,060名 個別/184名

### 役員一覧

#### 取締役 (監査等委員である取締役を除く)

代表取締役 社長執行役員	しば	みや	こう	し
	芝	宮	孝	司
取締役 専務執行役員	き	むら	たけ	し
	木	村	岳	史
取締役 執行役員	みや	た	たか	し
	宮	田	敬	史
取締役 執行役員	さくら	い	しげ	き
	櫻	井	茂	樹
取締役	いし	い	ひろ	ゆき
	石	井	弘	幸

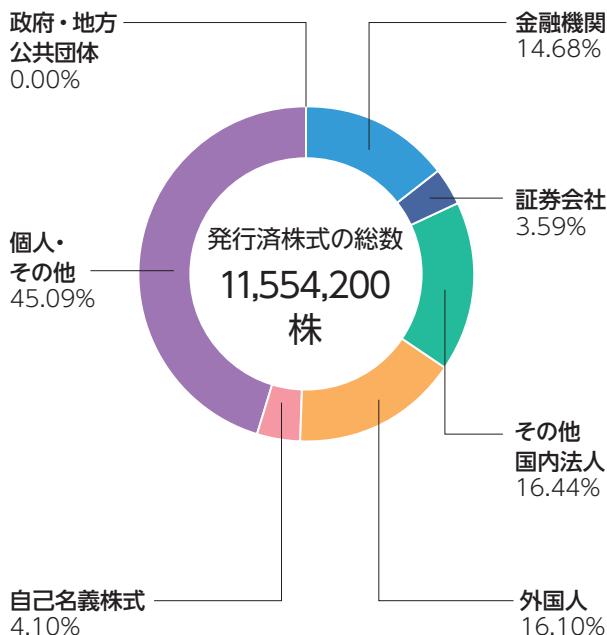
#### 監査等委員である取締役

常勤監査等委員(社外)	いけ	だ	こう	た	ろう
	池	田	耕	太	郎
監査等委員(社外)	こ	まつ	ひろ	し	照
	小	松	昭		
監査等委員(社外)	かわ	また	なお	たか	
	川	俣	尚	高	
監査等委員(社外)	ひろ	せ	ゆ	み	
	廣	瀬	由	美	

### 株式の状況

発行可能株式総数..... 36,673,600 株  
 発行済株式の総数..... 11,554,200 株  
 株主数 ..... 5,264 名

### 所有者別株式分布



## 大株主（上位10名）

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	876	7.91
THE BANK OF NEW YORK 133652	721	6.52
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	577	5.22
藤阪 知之	489	4.42
株式会社中国銀行	472	4.26
アルス株式会社	452	4.08
吉備興業株式会社	397	3.59
尾崎 貴紀	321	2.90
芝宮 孝司	296	2.67
尾崎 公子	205	1.86

※1 当社は、自己株式を474,033株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

**事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎事業年度終了後3ヵ月以内

**株主確定基準日** 3月31日

**期末配当金  
株主確定日** 3月31日

**中間配当金  
株主確定日** 9月30日

**単元株式数** 100株

**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

**郵便物送付先・  
連絡先** (郵便物送付先)  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(連絡先)  
0120-782-031

**公告方法** 当社の公告方法は、電子公告としております。

ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。当社の公告掲載URLは次のとおりです。  
<https://www.torex.co.jp/>

当社の最新情報は  
WEBサイトでご覧いただけます。

<https://www.torex.co.jp/>

トレックス 🔍



1 企業情報

2 サステナビリティ



3 投資家の皆様へ

経営ビジョン

財務ハイライト

トレックス・セミコンダクター株式会社  
〒104-0033 東京都中央区新川1-24-1  
DAIHO ANNEX 3F  
TEL (03)6222-2851



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油  
インキを使用しています。

